

平成30年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年9月10日

上場会社名 株式会社ウイルコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7831 URL <http://www.wellco-corp.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長(氏名) 若林裕紀子
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 林岳志 (TEL) 076-277-9831
 四半期報告書提出予定日 平成30年9月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第3四半期の連結業績(平成29年11月1日～平成30年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第3四半期	11,376	△3.1	△71	—	△199	—	△190	—
29年10月期第3四半期	11,742	25.7	△38	—	△34	—	0	△99.1

(注) 包括利益 30年10月期第3四半期 △109百万円(—%) 29年10月期第3四半期 256百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第3四半期	△7.73	—
29年10月期第3四半期	0.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第3四半期	16,902	6,324	37.4
29年10月期	16,452	6,546	39.8

(参考) 自己資本 30年10月期第3四半期 6,324百万円 29年10月期 6,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	0.00	—	4.00	4.00
30年10月期	—	0.00	—	—	—
30年10月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年10月期の連結業績予想(平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,200	4.9	△60	—	△230	—	△370	—	△15.04

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年10月期3Q	24,650,800株	29年10月期	24,650,800株
② 期末自己株式数	30年10月期3Q	52,690株	29年10月期	52,688株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年10月期3Q	24,598,111株	29年10月期3Q	24,598,497株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載した予想数値は、現在入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 2 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年11月1日～平成30年7月31日）の我が国経済は、2018年4-6月期のGDP成長率が、年率換算で実質3.0%増と、9四半期ぶりにマイナス成長となった2018年1-3月期から、2四半期ぶりのプラス成長となりました。国内は個人所得の改善による個人消費が下支えし景気は持続傾向にありますが、米国における金利の引き上げ、また今後の波及が懸念される貿易摩擦の影響等、先行きは必ずしも楽観はできません。

当社グループを取り巻く環境は、紙・板紙の国内出荷は前年同月対比で、12か月連続で減少（因みに7月も2.3%の減少）しており、紙媒体による広告は、減少する一方で、ネット広告の伸びは続いております。

このような環境の中、情報・印刷事業におきましては、デジタル印刷の受注を増やすため、冊子をメインにしたECサイト「ウイルダイレクト」を開設しました。毎月、アクセス数も増加し、売上高も増加をしております。今後は、当社独自製品についてもECサイトからの受注が本格的に行えるよう注力します。しかし、チラシ、無料情報誌等の落ち込みをカバーするまでには至りませんでした。その結果、セグメント売上高は7,645百万円（前年同期比4.3%減）となりました。また、オペレータの多能工化等による生産コスト削減と提案制度に基づく生産性改善を進めておりますが、売上高の減少により先行的設備投資による減価償却費の増加をまかなうことができず、セグメント利益は136百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

メディア事業につきましては、主力商品である紙媒体広告の減少に対応する為、無料情報誌の発行回数の見直し等の原価抑制策を講じておりますが、売上の減少をカバーするには足りませんでした。一方、顧客ホームページ制作の新規事業につきましては、当初計画は下回るものの受注件数は着実に伸びてきております。その結果、セグメント売上高は1,671百万円（前年同期比5.9%減）、セグメント利益は113百万円の損失（前年同期46百万円の損失）となりました。

知育事業につきましては、主力商品である知育絵本が新刊需要、重版需要ともに堅調であり、昨年からの扱いを始めたスクラッチアートも引き続き好調で新刊及び重版需要に加え、新規引き合いも増加しております。一方、雑誌付録、販促品等は受注競争が激しく計画したほどの成果は上げられず、セグメント売上高は2,638百万円（前年同期比3.5%増）にとどまりました。また、将来的な倉庫費用削減のため、在庫圧縮を図ったことにより一時的な在庫評価損が発生いたしましたが、為替対策やグループシナジーによる原価低減策が功を奏し、セグメント利益は245百万円（前年同期比122.9%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,376百万円（前年同期比3.1%減）となり、営業損失は71百万円（前年同期は営業損失38百万円）、経常損失は199百万円（前年同期は経常損失34百万円）、海外子会社清算に伴う特別損失85百万円の影響もあり、親会社株主に帰属する四半期純損失は190百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は16,902百万円と、前連結会計年度末に比べて449百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加566百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は10,578百万円と、前連結会計年度末に比べて672百万円増加いたしました。これは主として、長期借入金の増加344百万円、支払手形及び買掛金の増加189百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は6,324百万円と、前連結会計年度末に比べて222百万円減少いたしました。これは主として、利益剰余金の減少288百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年10月期通期の業績予想につきましては、去る平成30年6月11日に公表いたしました業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,577	4,143
受取手形及び売掛金	3,416	3,422
商品及び製品	341	628
仕掛品	120	122
原材料及び貯蔵品	314	198
繰延税金資産	5	0
その他	748	297
貸倒引当金	△19	△14
流動資産合計	8,506	8,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,257	1,159
機械装置及び運搬具（純額）	837	727
土地	2,175	2,602
その他（純額）	1,450	1,432
有形固定資産合計	5,720	5,920
無形固定資産		
のれん	448	521
その他	59	82
無形固定資産合計	508	604
投資その他の資産		
投資有価証券	1,186	1,167
長期貸付金	146	137
破産更生債権等	37	35
その他	456	342
貸倒引当金	△109	△104
投資その他の資産合計	1,717	1,578
固定資産合計	7,946	8,103
資産合計	16,452	16,902

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,565	1,754
電子記録債務	1,292	1,331
短期借入金	1,180	1,202
未払法人税等	41	29
預り金	13	27
賞与引当金	92	60
返品調整引当金	32	41
その他	914	942
流動負債合計	5,132	5,390
固定負債		
長期借入金	2,600	2,945
リース債務	1,285	1,267
退職給付に係る負債	464	533
繰延税金負債	358	333
資産除去債務	29	28
その他	34	79
固定負債合計	4,773	5,187
負債合計	9,905	10,578
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,667	1,667
資本剰余金	1,759	1,758
利益剰余金	2,994	2,705
自己株式	△4	△4
株主資本合計	6,417	6,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	200	161
繰延ヘッジ損益	—	22
為替換算調整勘定	△76	6
退職給付に係る調整累計額	1	6
その他の包括利益累計額合計	125	196
非支配株主持分	3	—
純資産合計	6,546	6,324
負債純資産合計	16,452	16,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
売上高	11,742	11,376
売上原価	9,267	8,864
売上総利益	2,475	2,512
販売費及び一般管理費	2,513	2,583
営業損失(△)	△38	△71
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	13	16
受取賃貸料	17	17
為替差益	32	—
受取保険金	3	2
その他	33	17
営業外収益合計	106	60
営業外費用		
支払利息	58	66
持分法による投資損失	6	55
不動産賃貸原価	6	6
為替差損	—	42
支払手数料	8	17
その他	22	0
営業外費用合計	102	188
経常損失(△)	△34	△199
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	124	142
その他	1	—
特別利益合計	128	143
特別損失		
固定資産除却損	2	3
投資有価証券評価損	20	3
関係会社整理損	—	85
その他	4	—
特別損失合計	27	93
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	66	△149
法人税、住民税及び事業税	37	46
法人税等調整額	28	△6
法人税等合計	66	40
四半期純利益又は四半期純損失(△)	0	△190
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△190

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	0	△190
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	233	△39
繰延ヘッジ損益	△5	22
為替換算調整勘定	1	93
退職給付に係る調整額	9	5
持分法適用会社に対する持分相当額	15	△1
その他の包括利益合計	255	80
四半期包括利益	256	△109
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	256	△119
非支配株主に係る四半期包括利益	0	9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷事 業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,426	1,768	2,548	11,742	—	11,742
セグメント間の内部売上 高又は振替高	564	8	—	573	△573	—
計	7,990	1,776	2,548	12,315	△573	11,742
セグメント利益又は損失 (△)	220	△46	110	284	△322	△38

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△322百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年11月1日 至 平成30年7月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	情報・印刷事 業	メディア事業	知育事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,102	1,664	2,608	11,376	—	11,376
セグメント間の内部売上 高又は振替高	542	7	29	579	△579	—
計	7,645	1,671	2,638	11,955	△579	11,376
セグメント利益又は損失 (△)	136	△113	245	268	△339	△71

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△339百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

鈴木出版株式会社の株式を取得し、当第3四半期連結会計期間において、新たに連結の範囲に含めたことに伴い、「知育事業」セグメントにおいてのれんが122百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。